

1: 出席者

加藤^a・千葉・平林・大西^b・浅野^c、吉田(亨)^{c,d}、吉田(ひ)^c

(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- 浅野氏が VBL 研究員に着任。
- 大塚氏が IAEA 核データ部門に着任予定。
- 鈴木氏が医工連携プロジェクトに異動、後任として山田氏が着任。
- 神戸大惑星科学専攻と北大宇宙理学専攻で GCOE の申請を計画中。
- 来年度の核反応データセンター概算要求を作成中。アジアの核データの教育拠点としての展開を長期的な視点で位置づけることを考えている。(以上、加藤)
- NRDC テクニカルミーティングに出席。(千葉)

3: 議論

- 数値 0.003(0)などの表示での誤差 0.000 の扱い。
0.0005 とする案と、
0.000 のまま、有効数値に関するコメントを入れるという案、
0.0005 として、コメントを入れるという案。
(継続)
- 同じエネルギーにおける複数回測定した断面積の値について
数値は平均操作などせずにそのまま扱い、コメントを入れることとする。
(承認)
- 数値読み取りでの対称誤差について
数値読み取りの際、対称誤差と非対称誤差の区別を付けにくい時がある。
NRDF は非対称で
EXFOR に送るときは対称にする。(エラーバーの大きいほうに合わせる。)
(承認)
- 採録年間計画
必ずしも、すべてをレフェリーする必要がないのではないか。
コーディング、チェック作業に慣れてきたら、必要に応じてレフェリーするという
のはどうか。ただし、コーディング者が慣れるまでは必ずレフェリーを行うように
する。

- 新規修正コード（次回へ）

4: 次回

2008年2月25日 18:00~